

2022年8月5日

各 位

会 社 名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之
 (コード：2418 東証プライム)
 問合せ先 財務経理部長 山崎 誠広
 (TEL：03-5464-0081)
 (URL <https://www.tsukada-global.holdings>)

2022年12月期 第2四半期及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表しました2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年6月30日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	25,210	△40	△160	△105	△2円20銭
今回修正予想(B)	22,539	△349	1,338	2	0円05銭
増減額(B)－(A)	△2,670	△309	1,498	107	
増減率(%)	△10.6	－	－	－	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期実績)	13,126	△5,518	△5,007	△4,452	△93円34銭

2. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	60,230	5,325	5,055	3,355	70円34銭
今回修正予想(B)	54,100	3,500	4,800	2,280	47円80銭
増減額(B)－(A)	△6,130	△1,825	△255	△1,075	
増減率(%)	△10.2	△34.3	△5.0	△32.0	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期実績)	33,429	△6,391	△5,452	△6,137	△128円67銭

3. 修正理由

第2四半期連結累計期間の婚礼事業において、施行組数は4,834組（前年同四半期比71.6%増）と大幅に増加いたしました。1組当たりゲスト数の回復が遅れたこと、また、マーケット全体に占める少人数婚礼の割合が高まったことから、施行単価の回復が遅れが生じ売上高は減少する見込みであります。ホテル事業においては、宿泊稼働率及び宿泊単価はほぼ見込みどおり推移いたしました。ホテル婚礼においても婚礼事業と同様に婚礼施行単価の回復が遅れたことにより売上高が減少する見込みであります。

利益面につきましては、売上総利益、営業利益は売上高が減少したことにより下回りましたが、経常利益につきましては、急激な為替変動に伴う為替差益の計上及び各種助成金の支給決定に基づく助成金収入の計上により上回る見込みであります。

通期連結業績予想につきましては、前述しております婚礼事業及びホテル事業における婚礼施行単価の戻りの遅れを反映したことにより売上高、利益面ともに前回予想を下回る見込みであります。

4. 補足情報（施行及び受注の状況）

（件数）

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (2021年2Q)			当第2四半期連結累計期間 (2022年2Q)			前連結会計年度 (2021年4Q)		
	受注数	施行数	受注残	受注数	施行数	受注残	受注数	施行数	受注残
婚礼事業	3,625	2,817	7,146	5,421	4,834	7,594	7,753	7,084	7,007
ホテル事業	661	510	1,329	842	778	1,285	1,302	1,259	1,221
合計	4,286	3,327	8,475	6,263	5,612	8,879	9,055	8,343	8,228

（注）上記業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症による影響は不確実性が高いため、収束・拡大の状況により連結業績予想数値の修正が必要と判断される状況となった場合には速やかに公表いたします。

以上